

令和4年度 第13回中郷区地域協議会次第

日 時:令和5年3月29日(水)18時30分～

場 所: 中郷コミュニティプラザ ホール

1 開 会

2 報 告

3 協 議

(1) 令和4年度活動報告会(3/11)を振り返って

(2) 自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について

4 その他

5 閉 会

令和4年度 中郷区地域協議会活動報告会(第2部 意見交換会)議事録

R3.3.11(土) は一とびあ中郷 ホール

【発言者1】「子どもたちが運動できる環境を」

子どもの居場所について。中郷区では、地域でスポーツ活動に力を入れており、自分の子どもたちも生き生きと参加している。平日の夕方にもクラブ活動として運動する時間を設けることができれば、子どものエネルギー発散の一つの場となりよいのではないかと。

【竹内昭彦委員】

子どもたちが身体を鍛える活動に一生懸命取り組んでいるが、状況が厳しくなっている。来年度から中学校の休日の部活動が地域移行になり、現在打ち合わせを進めている。将来的には、部活動そのものを地域で実施するようになっていくと思っている。現在の課題を解決し、地域で受け入れることができる仕組みを作れるよう、今後も検討を進めていく。

【陸川陽一委員】

子どもが少なくなり、自由に遊べる場も少なくなっている。ゲームを含め様々な遊びができる場が作ればよいと思う。

【竹内靖彦会長】

自分の町内会の子ども会の人数も少なくなっており、子ども会役員を務める親の負担が大きくなってしまったため、子ども会を解散することを検討していると相談を受けた。親の事情で子どもの出番が少なくなってしまうのは残念なことである。子育てを一通り終えた世代がそこにフォローできないかと考え、自分も真剣に話し合いに参加している。

各種イベントの子ども出番をきっかけに新しい習い事を始めたという話も聞いている。少しのきっかけを得ることが大切。皆さんのなかにも特技を秘めている人がいると思う。そういった特技をいかせる仕組みを住民組織がコーディネートし、そこに参加してもらえるとありがたいと思う。

【発言者2】「子ども達の移動時の安全確保」

中郷区の中心地から離れた町内に住む子どもは、学校への登下校など1人で移動する区間が長く心配である。友達の家へ遊びに行っても帰りが遅くなってしまふ。地域から声をかけてもらっているようなので安心する面もあるが、帰ってくるまで心配している。区のはずれに住んでいる子どものことも考えて計画していただきたい。

【竹内靖彦会長】

コミュニティバスの狙いがそこにある。保護者からスクールバスの相談も受けており、1人で移動区間がある子のケアが必要だと感じている。スクールバスの運行範囲は条例で決まっているため、そのケアできない部分にコミュニティバスを活用することも検討している。皆さんが心配している部分は、協議会委員も同じように心配している。元気な子どもたちを守るためにもしっかりやっていきたい。

【発言者3】「人のつながりが大切」

コロナ禍で人の居場所や人と人のつながりが大切だと改めて感じた。子どもだけでなく三世代が交流する場も作れたらいいなと地元で話を進めている。中郷区では地理的距離があるが、インターネット等通じて何かいいものを作っていけたらいいなと感じた。

【陸川陽一委員】

中郷区外も含めて交流できる場ができるといいなと思う。

【発言者4】「総合事務所前の空き地の活用」

総合事務所前の空き地がきれいな公園になるといいなと思っている。犬と一緒に子どもの下校時間に外を歩くことがあるが、子どもが犬をかわいがってくれる。ドッグランとしての活用もいいなと思う。遠方には無料のドッグランもあるが、行くのが大変。飼い主同士のコミュニティの場にもなると思う。

【高橋達也委員】

自分も犬を遠方のドッグランに連れて行ったり、小学校グラウンドに連れて行ったりしている。中郷にもあるといいなとは個人的には思う。犬の場所とするだけでなく、コミュニティの場にしたいという思いを大切にしていきたい。居場所づくりにもつながっていくと思う。

スキー育成会の活動も保護者から支えていただき、冬の子どもの居場所となっている。スキーに限らず支えがあつての活動の場であるので、しっかりと立ち上げていきたいと考えている。寺子屋を作って子どもの居場所を作っても、そこへの移動手段の問題がまた出てくる。コミュニティバスの関係もあるが、色々な面から支えることで居場所が確保できるのかなと思う。「ずっと大好き中郷」の気持ちを持ち、小さなことでも少しずつ進められるような提案をしていきたい。総合事務所にも共に前に進めていきたいという思いを伝えながらやっていきたい。今後も地域からの意見を聞いていきたい。

【発言者5】「二本木駅の和室利用、子どもたちの放課後の居場所づくり」

以前二本木駅の和室に学校帰りの子どもたちが使えるスペースを作るという話があったがどうなったのか。

【竹内靖彦会長】

今も使えるスペースになっているが、活用には十分に至っていない。

【発言者5】

孫が学校帰りに自宅で友達同士と楽しみながら勉強をしている。そうすると、他の親が申し訳なさそうにしてしまう。はとぴあ中郷の図書館はおしゃべりしながらできるような場所ではない。子どもたちが集まっておしゃべりできる場所があるといいなと思う。

【竹内靖彦会長】

地域協議会でも、学校帰りに寄れる場所を作れないかという話し合いをしている。できるだけ早く整備するため、保護者とも意見交換をしている。地域活性化の方向性の構成要素の一つにもあげた。

自身の土地に交流施設として使ってもらうことを目的に建設した建物がある。近々公開としたいが、そこを使ってもよい。ドッグランのしかけも検討している。皆さんの要望を形にしていきたいと考えている。

駅のスペースについては現在のままだと利用しにくさがあると思うので、改善していきたい。皆さんの意見をまたもらいたい。

【発言者6】「ひばり荘の今後は」

現在休業しているひばり荘は今後どうなっていくのか教えてほしい。

【竹内靖彦会長】

ひばり荘改築のころから協議会委員として携わっているが、地域としてもやはり残念なことである。今後も松ヶ峯温泉を盛り上げていくために、いち早く再開するように市から管理者に定期的に話をしており、これから管理者と意見交換できる機会を持ち、地域の要望としてあげていきたいと思っている。今日の段階で再開の断言はできないが、地域協議会も同じ思いであり、地域の声を大切にしていきたい。

【発言者7】「高齢者世帯の雪下ろし支援」

市では高齢者世帯に対し雪下ろしを行う際の支援があるが、若者がいる世帯への支援はない。自分の世帯は高齢者と娘の世帯だが、娘も体が弱く雪堀を行える状況ではない。近所の人でも自分より高齢であり、助け合いも現実的ではない。仕方なく自分が屋根に上がるが、体力もない。市の窓口でも相談しにくく、今日発言した。何かいい話があれば聞かせてほしい。

【竹内靖彦会長】

まず、そのような発言をこの場でもらえることに感謝する。市の制度については今後の議論になっていくが、発言者のような事情がある世帯に対しても、地域が助け合える仕組みが大切と感じており、地域活性化の方向性の構成要素に含めている。全てをフォローするのは金銭面等の問題もあるが、中郷区としての仕組みを提案しながらやっていきたい。またいつでも相談いただきたい。

【発言者7】

このような話があることもぜひ委員の頭に入れておいていただき、話し合う機会があれば話題として出してもらい、報告をまたの機会に聞きたいと思う。

中郷区内乗合タクシー貸切ツアー企画運營業務 仕様書

1 件 名 中郷区内乗合タクシー貸切ツアー企画運營業務 委託

2 委託期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

3 業務内容

- (1) 主に中郷区に居住する高齢者を対象に、中郷区内を巡回するツアー運行を企画すること。
- (2) 主に中郷区に居住する小中学生を対象に、中郷区内での子どもの居場所づくり及び中郷区の魅力伝承を目的にした運行を企画すること。
- (3) 運行に使用する車両（以下「貸切乗合タクシー」という。）及び運転手は、中郷区内の公共交通運行を実施しているタクシー事業者の車両及び運転手とする。
- (4) 運行は、概ね月1回以上、年間20回以上を実施することとし、貸切乗合タクシーの使用時間の合計は96時間以内とする。
- (5) (1) (2) の企画を (3) の事業者と連携し実施することとし、参加者の募集及び決定、参加者への詳細案内、巡回先の調整に係る経費は、受託者の負担とする。
- (6) (1) (2) の企画を実施する場合、受託者が管理する引率者を同行させることとし、必要に応じて案内役ガイドを同行させることが出来ることとする。
- (7) 案内役ガイドへの謝金は、市の各種講座、研修等の講師謝金の範囲内とし、受託者が講師に支払うものとする。
- (8) (3) に係る経費は、市がタクシー事業者に支払うものとする。
- (9) 参加者から参加料を徴収し、市の収入として収納すること。ただし、中学生以下の参加料は無料とする。
- (10) 今後の中郷区内の公共交通の整備に向け、利用者の意向を確認すること。
- (11) (1) 及び (2) の実施状況と (10) について、報告書を提出すること。

4 支払条件 毎月均等払いとし、10円未満の端数が生じる場合は、最終支払い時に合算して支払うものとする。

5 その他 本仕様書に記載していない事項は、双方協議して定めるものとする。

《環境配慮に関する事項》

- 1 業務に必要な消耗品等は、可能な限りエコマーク、グリーンマーク商品を使用すること。
- 2 業務の遂行にあたり車両を運行する場合は、アイドリングストップや経済速度走行の励行等、できる限り地球温暖化及び大気汚染の防止に努めること。
- 3 その他環境に配慮した業務の遂行に努めること。

(仮称)貸切タクシーで”なかごう”巡り 企画案

委員名 _____

ツアー名または ツアーの魅力・目的				
想定する 参加者または対象者		<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> その他()		
巡回場所		時間	発・着	内容
集合			発	
1			着	
			発	
2			着	
			発	
3			着	
			発	
4			着	
			発	
5			着	
			発	
解散			着	
ガイド候補者				
必要なもの、実費など				

メモ(想定されるオプションなど)
